



## グリフィスフーズ株式会社

### 会社説明

グリフィス・フーズは、100年以上の歴史を持つ家族経営のグローバル企業であり、食品業界における製品開発の先駆者として知られています。1919年にエノク・グリフィスによって設立されて以来、同社は単なる原材料サプライヤーの枠を超え、顧客企業のブランド価値を共に創り上げる「クリエイティブ・パートナー」としての地位を確立してきました。

同社の強みは、高度な食品科学（Food Science）と、シェフによる卓越した調理技術（Culinary Arts）を高度に融合させている点にあります。世界中に配置された「グリフィス・イノベーション・センター」では、食品科学者、感覚分析の専門家、そして熟練のシェフがチームを組み、消費者のトレンドや現地の好みに合わせた革新的な味覚ソリューションを生み出しています。主要な製品ラインアップには、スナック菓子や加工肉向けのシーズニング、揚げ物用の複雑なコーティングシステム、機能的なソースやドレッシング、そして近年需要が急増している代替タンパク質（植物性肉など）向けのテクスチャ改善技術などが含まれます。

また、グリフィス・フーズはサステナビリティを経営の中核に据えている点でも高く評価されています。「Creating Better Together（共に、より良いものを創る）」という哲学のもと、2030年に向けた野心的な持続可能性目標を掲げています。これには、原材料の100%を責任ある方法で調達すること、炭素排出量を削減すること、そして世界中の小規模農家を支援するプログラムなどが含まれます。例えば、パーム油の持続可能な調達（RSPO認証）や、再生農業の推進など、環境と社会の両面でポジティブなインパクトを与えることに注力しています。

同社は現在、北米、中南米、ヨーロッパ、アジア、オセアニアの各地域に製造拠点と営業オフィスを展開しており、マクドナルドなどの大手グローバルチェーンから各国のローカルメーカーまで、幅広い顧客層を持っています。日本市場においても、グローバルな知見とローカルの味覚を掛け合わせた独自のソリューションを提供し、日本の食文化の発展に寄与しています。100年以上にわたり培われた伝統的な誠実さと、未来を見据えた最先端の技術を併せ持つ同社は、まさに現代の食のインフラを支える重要な存在と言えるでしょう。

### 会社概要

#### 本社所在地

日本

#### 事業内容

食品の製品開発・製造（シーズニング、コーティング、ソース、ドレッシング、代替タンパク質、スープ、サイドディッシュ等の開発・供給）

#### 代表取締役

加藤 隆志

#### 設立年

1972年 03月

#### 資本金

262 百万円

#### URL

<https://griffithfoods.com/>

### オフィス情報

#### メインオフィス

〒1080075

東京都 港区 港南2丁目13-31

NSSビル